

講演会・ワークショップ実施概要

- 延岡市内において、「空飛ぶクルマ」の認知度や受容性の向上に資するため、市民向けの講演会および医療防災製造業界者向けのワークショップイベントを開催した。
- 当該イベントには同時開催した飛行見学会参加者と合わせ、市民および来賓含む計286名が参加した。
- イベントの概要を以下に示す。具体的なプログラム構成は次頁に示す通りである。

- イベントタイトル:「延岡市および県北における空飛ぶクルマがある未来を考える講演会」
- 目的: 延岡市の活動について市民および関係者に理解いただき、空飛ぶクルマ導入の議論への参加意識の醸成、受容性向上を図る
- 日時: 2024年3月2日(土)
- 場所: 宮崎県延岡市 九州保健福祉大学キャンパス
- 主催: 延岡市 (事務局: MRI)

講演会・ワークショップ実施概要

《プログラム構成》

部	時間	場所	プログラム案	
講演会	12:30~13:55	F講義棟	開会挨拶	
			基調講演1 延岡市の取組(延岡市長)	15分
			基調講演2 救命救急における空飛ぶクルマ活用のポテンシャル(慶應大学 中野顧問)	20分
			招待講演1 延岡市および県北における救急医療の実態(ドクターヘリ・ドクターカー含む)(宮崎県立延岡病院 金丸先生)	20分
			招待講演2 空飛ぶクルマの事業化動向(日本航空様)	20分
			ショートプレゼン MASCの活動紹介(MASC様)	10分
見学会	14:10~14:40	グラウンド	MASC様による試験飛行	30分
	14:40~15:10		機体見学会(撮影のみ)	30分
	15:15~15:30		【同時開催】医療防災製造業関係者機体体験(触る・乗る)	15分
			【同時開催】子供向けクイズツアー	15分
	15:30~16:00		子供機体体験会(触る・乗る) *クイズツアーに参加した子供のみ	30分
ワークショップ	15:40~16:30	講義室	医療防災製造業関係者向け空飛ぶクルマワークショップ	60分

市民生活に密着した活用に向けた講演会・ワークショップなどの開催

講演会・見学会・ワークショップ等 当日の様子

講演会



飛行見学会



ワークショップ



子供向けクイズツアー・乗車体験



講演会 実施報告

- 延岡市の活動について市民および関係者に理解いただき、空飛ぶクルマ導入の議論への参加意識の醸成、受容性向上を図ることを目的とし、講演会を開催した。
 - 講演会には計147名(来賓64名、医療防災関係者35名、市民48名)が参加し、「空飛ぶクルマ」の現状と今後の展望に関する5つのプレゼンテーションを聴講した。
- イベントタイトル:「延岡市および県北における空飛ぶクルマがある未来を考える講演会」
 - 目的: 延岡市の活動について市民および関係者に理解いただき、空飛ぶクルマ導入の議論への参加意識の醸成、受容性向上を図る
 - 日時: 2024年3月2日(土)12:30~13:55
 - 場所: 宮崎県延岡市 九州保健福祉大学キャンパス F講義棟
 - 主催: 延岡市 (事務局・司会: MRI)



子供向けクイズツアー 実施報告

- 機体見学会後、未来を担う子供たちに「空飛ぶクルマ」を知って頂き、現物を見ることでより身近に感じて頂き、受容性向上を図ることを目的とした子供向けイベントを実施した。
- 以下にイベント概要を記載する。
 - イベントタイトル:「空飛ぶクルマをもっと知ろう！クイズツアー！」
 - 目的: 未来を担う子供たちに「空飛ぶクルマ」を知って頂き、現物を見ることでより身近に感じて頂き、受容性向上を図る
 - 日時: 2024年3月2日(土) 15:15~15:30
 - 場所: 宮崎県延岡市 九州保健福祉大学キャンパス グラウンド
 - 進行: MRI
 - 参加者: 子供 30名(事前申込)
 - 進行概要: 飛行試験の後、機体を近くで観察しながら、「空飛ぶクルマ」の基礎知識や機体の構造に関する〇×形式のクイズを実施した
 - クイズの内容: 空飛ぶクルマの基礎知識のクイズを出題
※正解数のカウントは取らず、お子様にはその場で挙手形式で回答いただいた
 - 空飛ぶクルマは人が乗れるでしょうか? → ドローンとの違いを説明
 - 空飛ぶクルマは宇宙まで飛べるでしょうか? → どのくらいの高さを飛ぶかを説明
 - Ehangのプロペラの数はいくつでしょうか? → 子供たちと機体の構造を一緒に観察し、機体の種別などを説明
 - Ehangのエネルギー源(ガソリン? 電気?) → 飛行機やヘリコプターと違い、電気の力で飛ぶことを説明
 - Ehangはどうやって操縦するでしょうか? → 遠隔操縦することを説明
 - 参加賞: MACSさま提供(詳細を次頁に記載)

子供向けクイズツアー 参加賞



- セット内容
- MASC公式ステッカー
- MACSマスキングテープ 青
- MACSマスキングテープ 白
- MASCペーパーファイル
- MASC展示場ご紹介チラシ

ワークショップ 実施報告

- 以下にワークショップの開催概要を記載する。
- 日時： 2024年3月2日(土) 15:20~16:20
- 場所： 宮崎県延岡市 九州保健福祉大学キャンパス 講義室
- 進行： MRI(協力:慶応義塾大学)
- 参加者： 医療防災関係者 46名
- 進行概要：
講演会、飛行見学会の後、延岡市における「空飛ぶクルマ」の医療・防災分野への活用に関する調査・検討結果について事務局から話題提供し、それらに対する医療防災製造業関係者からの意見を収集する
- 当日の流れ
 - 事務局レク (15分)
 - ・ 以下について事務局が説明
 - 空飛ぶクルマの開発状況、
 - 延岡市における空飛ぶクルマ活用イメージ
 - 延岡市における空飛ぶクルマ運用イメージ
 - 空飛ぶクルマの産業エコシステム など
 - 意見交換 (40分)
 - 総括 (5分)

ワークショップ 実施報告

ワークショップにおける主な意見は以下の通り。

● 空飛ぶクルマの活用可能性

- 救命救急医療用途については、機体性能の向上に応じ、例えば次のような用途に対して段階的に導入していくことが想定されるのではないか。
 - ① 救急専門医を、救急専門医がいない地域の病院に派遣
 - ② 医師＋看護師を医療機器と共に現場に派遣
 - ③ 上記に加え、患者を県立延岡病院や大学病院に搬送
- 災害時には、道路が寸断された場所やヘリが着陸できない場所への物資輸送に使えると良いのではないかと。

● 空飛ぶクルマの実装に向けた国・自治体等への要望

- 県北地域に対し、空飛ぶクルマの運用に必要な無線通信インフラの整備が必要ではないかと。
- 夜間飛行、悪天候時にも運用可能な技術開発や制度整備が必要ではないかと。
- ドクターヘリと同様、救命救急用途の空飛ぶクルマに対し航空法“救命・救助の特例”の適用が必要ではないかと。

● 製造業等への波及と今後の取組み方策

- 医療機器について、空飛ぶクルマに搭載するための軽量、低消費電力の機器開発ができるの良いのではないかと。
→まずは、製造業の関係者に対する医療機器の見学会を開催してはどうか。
- 空飛ぶクルマの装備品や素材への参入可能性もあるが、航空装備品認証のハードルが高いのではないかと。
→まずは、空飛ぶクルマの基礎知識や航空装備品認証に関する勉強会の開催が必要ではないかと。